

VI 調査票

[単純集計結果]

令和元年度 高知県 県民世論調査 調査票

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

下のQ. 1 からQ. 10 までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

Q. 1 性別（1つだけ○印）

（回答者数 1,718 人）

	項目	回答数	回答比率
1	男性	838	48.8%
2	女性	874	50.9%
3	その他	1	0.1%
	無回答	5	0.3%

Q. 2 年代（1つだけ○印）

（回答者数 1,718 人）

	項目	回答数	回答比率
1	10 歳代	53	3.1%
2	20 歳代	194	11.3%
3	30 歳代	268	15.6%
4	40 歳代	361	21.0%
5	50 歳代	333	19.4%
6	60 歳代	329	19.2%
7	70 歳以上	177	10.3%
	無回答	3	0.2%

Q. 3 職業（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林業	73	4.2%
2	漁業	14	0.8%
3	商工サービス業自営	94	5.5%
4	事務職	245	14.3%
5	技術職	255	14.8%
6	労務職	246	14.3%
7	管理職	83	4.8%
8	自由業	47	2.7%
9	主婦・主夫	161	9.4%
10	学生	92	5.4%
11	無職	232	13.5%
12	その他	160	9.3%
	無回答	16	0.9%

Q. 4 あなたの属性（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	世帯主	758	44.1%
2	世帯主ではない（世帯員）	952	55.4%
	無回答	8	0.5%

Q. 5 婚姻状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	未婚	522	30.4%
2	既婚	995	57.9%
3	その他（離別、死別を含む）	191	11.1%
	無回答	10	0.6%

Q. 6 子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	153	8.9%
2	小・中学生の子どもがいる	230	13.4%
3	高校生の子がいる	130	7.6%
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	120	7.0%
5	子どもは成人している又は独立している	646	37.6%
6	子どもはいない	639	37.2%
	無回答	28	1.6%

Q. 7 世帯の年間収入（税込み）（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	0～100万円未満	129	7.5%
2	100～200万円未満	189	11.0%
3	200～300万円未満	312	18.2%
4	300～400万円未満	294	17.1%
5	400～600万円未満	344	20.0%
6	600～800万円未満	174	10.1%
7	800～1,000万円未満	90	5.2%
8	1,000万円以上	108	6.3%
	無回答	78	4.5%

Q. 8 お住まいの状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	持家	1,310	76.3%
2	借家	382	22.2%
	無回答	26	1.5%

Q. 9 お住まいの場所（広域市町村圏）（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	高知市	842	49.0%
2	安芸広域圏	107	6.2%
3	南国・香美広域圏	244	14.2%
4	嶺北広域圏	26	1.5%
5	仁淀川広域圏	101	5.9%
6	高吾北広域圏	58	3.4%
7	高幡広域圏	134	7.8%
8	幡多広域圏	189	11.0%
	無回答	17	1.0%

Q. 10 お住まいの地域（沿岸部・非沿岸部）（1つだけ○印）

※ お住まいの地域が沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）を目安にしてください。

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	沿岸部	538	31.3%
2	非沿岸部	1,145	66.6%
	無回答	35	2.0%

1. 県の基本政策について

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取り組みを進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる3つの政策に取り組んでいます。

【5つの基本政策】

①経済の活性化

(産業振興計画による地産外商の推進、担い手の育成・確保、起業・新事業展開の促進、地域産業クラスターの形成、事業戦略の策定・実行支援など)

②日本一の健康長寿県づくり

(壮年期の死亡率の改善、地域地域で安心して住み続けられる県づくり、厳しい環境にある子どもたちへの支援など)

③教育の充実と子育て支援

(「チーム学校」の構築による知・徳・体のさらなる向上、地域との連携・協働など)

④南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

(地震発生直後の命を守る対策をはじめ、助かった命をつなぐための応急期の対策など)

⑤インフラの充実と有効活用

(県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など)

【5つの基本政策に横断的にかかわる3つの政策】

⑥中山間対策の充実・強化

(集落活動センターの普及・拡大、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など)

⑦少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

(出会い・結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など)

⑧文化芸術とスポーツの振興

(文化芸術を鑑賞できる機会の充実・発表する機会の拡充、文化芸術活動を支える人材の育成、高知固有の文化の継承や活用、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりなど)

※詳しくは同封のパンフレット「平成31年度高知県の財政」P.3～6をご覧ください。

県の進めている8つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問1 「経済の活性化」について、第3期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林漁業の生産地の強化	582	33.9%
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	267	15.5%
3	観光の振興	572	33.3%
4	県産品等の県外・海外での販売促進支援	336	19.6%
5	産業の担い手の育成・確保	707	41.2%
6	県外からの移住の促進	296	17.2%
7	I o TやA Iなど最先端のデジタル技術を活用した地場産業の高度化	152	8.8%
8	防災関連産業、I T・コンテンツ関連産業など新たな産業の創出	206	12.0%
9	起業や新たな事業展開を志す方への支援	200	11.6%
10	第一次産業などを核とした産業集積（地域産業クラスター※1）	292	17.0%
11	県内事業者の経営基盤の強化（事業戦略※2の策定・実行・金融支援）	302	17.6%
12	企業の誘致	377	21.9%
13	地域の商店街等の活性化	402	23.4%
14	その他	38	2.2%
	無回答	19	1.1%

※1 地域産業クラスター：地域に根差した第一次産業などを核として、その周りに、例えば、加工場や、直販所、レストランなどの関連施設を集積させることにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を地域地域に数多く生み出す取り組み。

※2 事業戦略：事業者の経営ビジョンの実現に向けて「どう行動するか」を示す、様々な取り組みの土台となる戦略のこと。

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第3期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策	488	28.4%
2	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	594	34.6%
3	医師等の地域偏在の是正	449	26.1%
4	在宅医療・介護の推進	428	24.9%
5	救急医療体制の強化	346	20.1%
6	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり※	638	37.1%
7	障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり	221	12.9%
8	厳しい環境にある子どもたちへの支援	385	22.4%
9	少子化対策の推進	598	34.8%
10	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	559	32.5%
11	その他	23	1.3%
	無回答	13	0.8%

※ 介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

問3 「教育の充実と子育て支援」について、教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化※ ¹	662	38.5%
2	道徳教育の推進	575	33.5%
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	375	21.8%
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	492	28.6%
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	320	18.6%
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実※ ²	489	28.5%
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	765	44.5%
8	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	362	21.1%
9	就学前の教育・保育の充実	281	16.4%
10	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	309	18.0%
11	その他	50	2.9%
	無回答	15	0.9%

※1 教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2 家庭の経済状況と子どもの学力には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第4期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	477	27.8%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	611	35.6%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	417	24.3%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	794	46.2%
5	前方展開型による医療救護体制の推進 ^{※1}	343	20.0%
6	防災教育の強化	317	18.5%
7	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	379	22.1%
8	地震火災・津波火災対策の推進	188	10.9%
9	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	300	17.5%
10	南海トラフ地震臨時情報 ^{※2} が発表された場合に備えた対策の推進	223	13.0%
11	自主防災組織など人のつながりの強化	337	19.6%
12	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	351	20.4%
13	その他	31	1.8%
	無回答	11	0.6%

※1 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくりを強化していくこと。

※2 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報。

問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	504	29.3%
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	804	46.8%
3	風水害に備えた海岸及び河川堤防等の整備や土砂災害対策の推進	444	25.8%
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	402	23.4%
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	468	27.2%
6	公共交通機関の維持確保	394	22.9%
7	高速道路や空港、港湾等を活用した物流対策	204	11.9%
8	その他	16	0.9%
	無回答	22	1.3%

問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	食料品や日用品などの確保	367	21.4%
2	地域での医療・介護の確保	706	41.1%
3	買い物や通院のための移動手段の確保	816	47.5%
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	591	34.4%
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	275	16.0%
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	258	15.0%
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	83	4.8%
8	鳥獣被害への対策	163	9.5%
9	その他	13	0.8%
	無回答	16	0.9%

問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	368	21.4%
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	303	17.6%
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	499	29.0%
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	778	45.3%
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	389	22.6%
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	145	8.4%
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	299	17.4%
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	462	26.9%
9	その他	18	1.0%
	無回答	23	1.3%

「文化芸術とスポーツの振興」について、以下それぞれお伺いします。

問8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	584	34.0%
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	810	47.1%
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	185	10.8%
4	高知固有の文化の継承や活用	619	36.0%
5	文化芸術活動を支える人材の育成	434	25.3%
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	385	22.4%
7	その他	13	0.8%
	無回答	38	2.2%

問9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	923	53.7%
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	608	35.4%
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	484	28.2%
4	スポーツ施設・設備の充実	870	50.6%
5	その他	22	1.3%
	無回答	47	2.7%

改めて、5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策についてお伺いします。

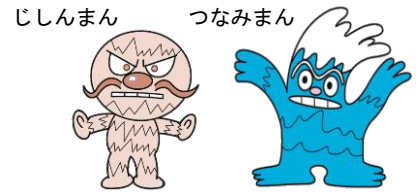
問10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	961	55.9%
2	日本一の健康長寿県づくり	151	8.8%
3	教育の充実と子育て支援	525	30.6%
4	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	542	31.5%
5	インフラの充実と有効活用	254	14.8%
6	中山間対策の充実・強化	306	17.8%
7	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	423	24.6%
8	文化芸術とスポーツの振興	63	3.7%
	無回答	26	1.5%

問11 8つの政策以外に力を入れて取り組むべきだと考えられるものがあればご自由にお書きください。(自由記入)

自由記入欄



高知県防災キャラクター©やなせたかし

2. 南海トラフ地震対策について

高知県では「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。被害を軽減するためには、県民の皆様一人ひとりの備えとしての「自助」の取り組みや、地域で支え合う「共助」の取り組みが重要です。県民の皆様のご協力のもと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。

問 12 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	628	36.6%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	884	51.5%
3	わからない	181	10.5%
	無回答	25	1.5%

問 13 あなたが津波の浸水が予測される地域にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	1,178	68.6%
2	津波警報が出たら	216	12.6%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	155	9.0%
4	周りの人が避難したら	88	5.1%
5	避難しない	39	2.3%
	無回答	42	2.4%

問 14 あなたのお宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	固定している	312	18.2%
2	寝室(子ども部屋を含む)だけは固定している	131	7.6%
3	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	989	57.6%
4	固定が必要な家具などを、寝室(子ども部屋を含む)やリビングルームなどの居室内に置いていないため、固定の必要がない	256	14.9%
	無回答	30	1.7%

問 15 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	関わりたい	328	19.1%
2	関わりたいが、やり方がわからない	505	29.4%
3	できれば関わりたいくない	340	19.8%
4	関わりたいくない	125	7.3%
5	わからない	387	22.5%
	無回答	33	1.9%



たいさくくん

問 16 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	1日~2日分を備蓄している	709	41.3%
2	3日~6日分を備蓄している	395	23.0%
3	7日分以上を備蓄している	66	3.8%
4	備蓄していない	525	30.6%
	無回答	23	1.3%

問17 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	1日～2日分を備蓄している	651	37.9%
2	3日～6日分を備蓄している	355	20.7%
3	7日分以上を備蓄している	75	4.4%
4	備蓄していない	617	35.9%
	無回答	20	1.2%

※ 1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

問18 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	359	20.9%
2	残量が4分の1程度になった時	653	38.0%
3	残量がほとんど無くなった時	493	28.7%
4	車を運転しないので給油する機会がない	189	11.0%
	無回答	24	1.4%



ヘルパちゃん

副問1 (問18で「1・2・3」を選んだ方のみお答えください。)

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,505人)

	項目	回答数	回答比率
1	満タンにする	1,164	77.3%
2	満タンにせずに、一定の量を入れる	91	6.0%
3	満タンにせずに、一定の金額分を入れる	247	16.4%
	無回答	3	0.2%

問19 ご自宅に感震ブレーカー（地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置）を設置していますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	設置している	510	29.7%
2	設置していない	691	40.2%
3	わからない	493	28.7%
	無回答	24	1.4%



副問1（問19で「2」を選んだ方のみお答えください。）

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 691人）

	項目	回答数	回答比率
1	感震ブレーカーのことを知らなかったため	344	49.8%
2	必要性を感じていない	82	11.9%
3	手間がかかる	62	9.0%
4	費用がかかる	146	21.1%
5	設置の方法がわからない	133	19.2%
6	どこで売っているのかわからない	111	16.1%
7	その他	44	6.4%
	無回答	3	0.4%

【地域の防災力について】

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問20 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	参加した	673	39.2%
2	都合が合わず参加できなかった	345	20.1%
3	訓練がなかった、またはあったかわからない	480	27.9%
4	参加しようと思わなかった	192	11.2%
	無回答	28	1.6%

問21 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いま

すか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	644	37.5%
2	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	471	27.4%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う	327	19.0%
4	他のイベントと一緒にやる	553	32.2%
5	参加賞(非常食など)を出す	414	24.1%
6	参加を義務化する	359	20.9%
7	その他	39	2.3%
	無回答	28	1.6%



トラフ博士

問 22 「南海トラフ地震臨時情報※」が発表されることについて、ご存じでしたか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	知っている	538	31.3%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	532	31.0%
3	知らない	626	36.4%
	無回答	22	1.3%

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報

県民の皆様に特に取り組んでいただきたいこと

1. 「命を守る」ための備え

【津波からの早期避難】

強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、揺れがおさまり次第、津波警報・注意報や避難指示・勧告を待たず、速やかに決められた避難場所へ避難しましょう。

【室内の安全対策】

強い揺れにより、家具や家電などが倒れたり、飛んでくることがあります。

耐震金具などによる家具や家電の固定や、配置の見直しをしましょう（寝室・居間を中心に）。

【通電火災の防止】

電気が復旧したときに、破損した電気製品や屋内配線に再び電気が流れることで火災が発生することがあります。揺れがおさまったあと、避難するときにはブレーカーを落としましょう。

地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーの設置も効果的です。感震ブレーカーは、簡易タイプであればお近くのホームセンター、家電量販店等で購入できます。

【南海トラフ地震臨時情報について】

南海トラフ地震臨時情報は、地震の発生を予知する情報ではなく、あくまでも大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された時に発表されますが、情報が発表されていない状態で地震が起こることもありますし、逆に、情報が発表されても、地震が発生しないこともあります。

このため、突発的な地震に備えることが基本となりますが、情報が発表されたら、国や自治体から呼びかけられる防災対応、例えば、避難場所や非常持ち出し品の確認、津波の浸水が予想される一部の地域では事前避難を行うなど、普段よりも警戒レベルを上げ、巨大地震の発生に備えることが重要です。

2. 「命をつなぐ」ための備え

【食料や飲料水の備蓄】

3日分以上（可能であれば1週間分以上）の備蓄をしましょう。

【避難所運営への関わり】

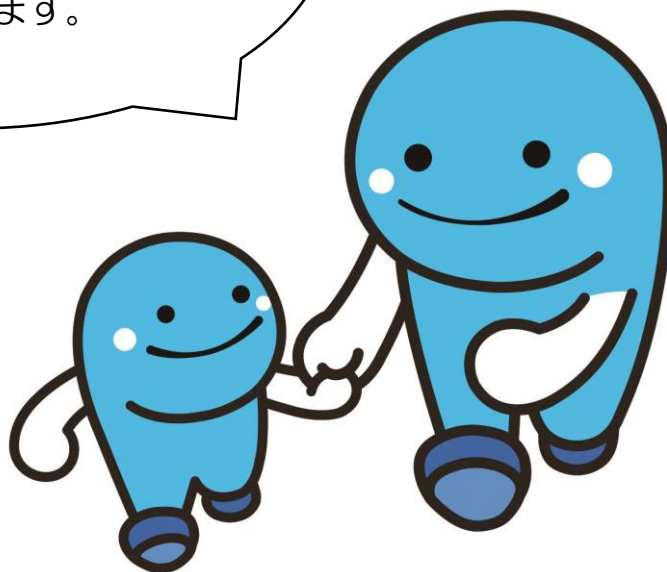
地震発生直後は人命最優先の対応を迫られるため、避難所の運営まで公的な支援が届かないことが予想されます。

日頃から地域で避難所運営について考え、協力して準備を進めておくことが大切です。

【ガソリンの満タン給油】

地震発生後は深刻な燃料不足が懸念されます。日頃から、車の燃料残量が半分となる前に、こまめな満タン給油をしましょう。

いただいたお答えは、
県の政策を進めるうえでの
大事な基礎資料と
なっています。



【消防団について】

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。

「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が、非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問23 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	入団し、積極的に参加している	43	2.5%
2	入団し、時々参加している	15	0.9%
3	入団しているが、あまり参加していない	12	0.7%
4	入団していないが、参加してみたい	120	7.0%
5	入団していないし、今後も参加する予定はない	1,053	61.3%
6	住んでいる地域に消防団があるかわからない	436	25.4%
	無回答	39	2.3%

問24 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域に密着した防災活動をしている	908	52.9%
2	地域を守る意識の高い人が参加している	573	33.4%
3	地元の人同士で和気あいあいと活動している	350	20.4%
4	体力が必要	608	35.4%
5	会社員は仕事があるので参加しづらい	456	26.5%
6	土日に訓練等の活動があり、大変	216	12.6%
7	若い人が不足している	702	40.9%
8	規律が厳しい	77	4.5%
9	そもそも消防団とは何か知らない	158	9.2%
10	その他	33	1.9%
	無回答	23	1.3%



ゆうどうくん

問25 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる制度がある	379	22.1%
2	団員が知人を誘って一緒に参加する	481	28.0%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する	559	32.5%
4	訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する	252	14.7%
5	消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする	1,058	61.6%
6	消防団は必要ない	39	2.3%
7	その他	65	3.8%
	無回答	45	2.6%

【住宅の耐震化について】

阪神・淡路大震災や熊本地震では、住宅の倒壊により多くの尊い命が奪われました。近い将来必ず起こると言われている南海トラフ地震では、強い揺れだけではなく、東日本大震災のように津波の到達も想定されています。

地震による住宅の倒壊や家具の転倒は、命を失う直接的な原因となるだけでなく、その後の火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れ、さらには倒壊した住宅・ブロック塀のがれきが道路をふさいで消防活動や救急搬送が妨げられるなど、さらに多くの命を失うことにも繋がります。南海トラフ地震による犠牲者を限りなくゼロにするためには、住宅の耐震化、ブロック塀の安全対策が必要です。

南海トラフ地震に備え、自分やご家族、地域の方々の安全のため、住宅の地震対策を進めましょう。

大丈夫かよ! おまんくは?

地震が起きても大丈夫か? 高知家

地震の後に発生する津波や火災からどうやって逃げますか? あなたとあなたの家族を守るのは、あなた自身です。

いつかは必ずやってくる南海トラフ地震。その強い揺れにより住宅が倒壊し、あなたやあなたの家族がその下敷きになってしまったら!? 地震で倒壊した建物がガレキとなって道路をふさぎ、救急車や消防車が通れなくなったら!?

住宅の耐震改修のための補助金があります。

県に登録された専門家がやるよ、安心がよ!

耐震改修って?
大きな地震が起きたときに、家が倒壊しないように改修・補修することです。

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された住宅(戸建て、長屋及び共同住宅など)
申込先 住宅のある市町村 **申請者** 対象住宅の所有者

耐震診断 木造住宅の場合 自己負担 3千円以内	耐震設計 20.5万円~ 補助金	耐震改修 92.5万円~ 補助金
---	-----------------------------------	-----------------------------------

※ 市町村によって額は異なります。
※ 本造以外の住宅へ補助を行っているところもありますので、詳しくは市町村へお問い合わせください。

耐震3兄弟
© 村岡マサヒロ

■このチラシに関するお問い合わせは、高知県土木部住宅課まで **TEL 088-823-9856** (受付時間 午前8時30分~午後5時 休日を除く月~金) **高知県 耐震 検索**

問 26 あなたのお住まい（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	昭和 56 年 5 月以前の木造住宅	374	21.8%
2	昭和 56 年 6 月以降で平成 12 年 5 月以前※の木造住宅	390	22.7%
3	平成 12 年 6 月以降の木造住宅	305	17.8%
4	昭和 56 年 5 月以前の非木造住宅	71	4.1%
5	昭和 56 年 6 月以降の非木造住宅	264	15.4%
6	わからない	280	16.3%
	無回答	34	2.0%

※ 平成 12 年の建築基準法関連告示により、壁をバランス良く配置する基準や、柱や筋交い端部等を結合するための構造方法が明確化された。

副問 1（問 26 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか、また、その結果はどうでしたか。（1つだけ○印）

（回答者数 374 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された	79	21.1%
2	診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された	6	1.6%
3	診断を受けたことはない	284	75.9%
	無回答	5	1.3%

副問 2（副問 1 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。

（1つだけ○印）

（回答者数 79 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	耐震改修工事を行った	46	58.2%
2	今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定	12	15.2%
3	耐震改修工事も建て替えも行う予定はない	12	15.2%
4	検討中	8	10.1%
	無回答	1	1.3%

副問3（副問1で「3」を選んだ方のみお答えください。）

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 284人）

	項目	回答数	回答比率
1	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	27	9.5%
2	自宅が地震に強いと思っている	9	3.2%
3	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	47	16.5%
4	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	56	19.7%
5	耐震診断の費用がかかる	79	27.8%
6	耐震診断のやり方がわからない	31	10.9%
7	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	11	3.9%
8	近いうちに建て替えるつもりである	14	4.9%
9	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	118	41.5%
10	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	82	28.9%
11	その他	39	13.7%
	無回答	17	6.0%

副問4（副問2で「3・4」を選んだ方のみお答えください。）

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

（1つだけ○印）

（回答者数 20人）

	項目	回答数	回答比率
1	費用が高い	8	40.0%
2	申し込み手続きに手間がかかる	2	10.0%
3	家の中に他人が入ってほしくない	0	0.0%
4	工事中の生活に支障が出る	2	10.0%
5	工事に伴う荷物の移動が面倒だ	0	0.0%
6	信頼できる業者を知らない	0	0.0%
7	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う。	7	35.0%
8	その他	1	5.0%
	無回答	0	0.0%

副問5（各問から副問5へ誘導された方のみお答えください。）

県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますが、ご存じですか。
（1つだけ○印）

（回答者数 439人）

	項目	回答数	回答比率
1	知っている	245	58.1%
2	知らない	89	21.1%
3	既に利用した（利用中を含む）	15	3.6%
	無回答	90	20.5%

※詳しくは、同封のチラシ「大丈夫かよ！おまんくは？」をご覧ください。

副問6（副問5で「1・3」を選んだ方のみお答えください。）

どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 260人）

	項目	回答数	回答比率
1	ポスター、パンフレット	73	28.1%
2	知人、親族から聞いて	52	20.0%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	78	30.0%
4	イベント、講演会	5	1.9%
5	新聞、広告、広報誌	119	45.8%
6	テレビ、ラジオ	93	35.8%
7	その他	3	1.2%
	無回答	2	0.8%

問27 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもらいたいと思いますか。（1つだけ○印）

（回答者数 479人）

	項目	回答数	回答比率
1	0円	63	13.2%
2	10万円まで	94	19.6%
3	20万円まで	83	17.3%
4	40万円まで	43	9.0%
5	60万円まで	36	7.5%
6	80万円まで	3	0.6%
7	100万円まで	55	11.5%
8	100万円以上でもよい	20	4.2%
	無回答	82	17.1%

問 28 今後、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	509	29.6%
2	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	378	22.0%
3	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	286	16.6%
4	耐震診断士の無料派遣	608	35.4%
5	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	581	33.8%
6	一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	313	18.2%
7	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震工事、耐震改修工事)への費用の支援	431	25.1%
8	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	254	14.8%
9	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	438	25.5%
10	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	157	9.1%
11	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	159	9.3%
12	行政には特に期待していない	76	4.4%
13	その他	24	1.4%
	無回答	67	3.9%

3. 障害者差別解消について

県では、障害のある人の支援等の施策に関する基本原則や国・地方公共団体等の責務などを定めた障害者基本法に基づき「高知県障害者計画」および、障害のある人が必要とする福祉サービスや相談支援体制などの提供について数値目標を定めた「高知県障害福祉計画・障害児福祉計画」を策定し、障害のある人もない人も、地域社会の一員として、互いに尊重し、支え合う共生社会の実現に向けて、総合的・計画的に取り組みを進めています。

また、平成28年4月新たに施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）では、障害がある人に対して不当な差別的取り扱いの禁止と、合理的配慮を行うことが定められています。

こうした状況を踏まえ、さらなる共生社会の実現を目指していくために、県民の皆さんからご意見をいただきながら、障害者基本法や障害者差別解消法に基づいた県条例を新たに制定し、取り組みを進めていくこととしています。

問29 あなたは、障害福祉について関心がありますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	関心がある	419	24.4%
2	やや関心がある	467	27.2%
3	どちらともいえない	597	34.7%
4	あまり関心がない	135	7.9%
5	関心がない	77	4.5%
	無回答	23	1.3%

副問1（問29で「4・5」を選んだ方のみお答えください。）

その理由は何ですか。（1つだけ○印）

（回答者数 212人）

	項目	回答数	回答比率
1	自分には関係がないと思うから	31	14.6%
2	障害や障害のある人のことがよくわからないから	58	27.4%
3	行政にまかせておいてよいと思うから	44	20.8%
4	忙しくて考える余裕がないから	65	30.7%
5	その他	11	5.2%
	無回答	3	1.4%

問 30 あなたは、障害者差別解消法について知っていましたか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	法律の内容も含めて知っていた	156	9.1%
2	内容は知らなかったが、法律ができたことは知っていた	371	21.6%
3	知らなかった	1,163	67.7%
	無回答	28	1.6%

問 31 あなたは、障害者に対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	かなり改善されている	131	7.6%
2	ある程度改善されている	728	42.4%
3	あまり改善されていない	438	25.5%
4	ほとんど改善されていない	119	6.9%
5	どちらともいえない	276	16.1%
	無回答	26	1.5%

問 32 障害のある人もない人も安心して暮らすことができる共生社会の実現に向け、県や市町村が、特に力を入れて取り組むべきだと思うものは何ですか。(5つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	障害や障害のある人について理解を深めるための啓発・広報活動の充実	534	31.1%
2	保健医療サービスやリハビリテーションの充実	539	31.4%
3	ホームヘルプや外出支援など在宅福祉サービスの充実	476	27.7%
4	入所施設や通所事業所などの障害福祉サービスの充実	615	35.8%
5	障害や障害のある人への理解を深めるための学校教育の充実	696	40.5%
6	障害のある子どもへの相談支援体制や教育の充実	572	33.3%
7	障害に応じた職業訓練の充実や就労のための支援	825	48.0%
8	障害のある人が社会参加できるための相談支援体制などの充実	481	28.0%
9	障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備	577	33.6%
10	ボランティアの養成・ボランティア活動への支援	245	14.3%
11	点字・手話・音声サービスなど、障害のある人に配慮した情報提供の充実	304	17.7%
12	グループホームなど生活（居住）の場の確保	329	19.2%
13	障害のある人の権利を守るための成年後見人制度や権利擁護事業の推進	187	10.9%
14	障害のある人が安心して生活できるための防犯・防災対策の促進	351	20.4%
15	障害のある人のスポーツの振興・文化芸術活動の促進	179	10.4%
	無回答	56	3.3%

「障害」の「害」の表記については、負のイメージがあるとしてひらがなの「がい」に改める動きが自治体や障害関係の事業者等にも広がっているなど、「障害」の表記については様々な意見があります。

問 33 「害」の表記について、こうした動きがあることを知っていましたか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	知っていた	521	30.3%
2	詳しくは知らなかったが、聞いたことはあった	225	13.1%
3	知らなかった	947	55.1%
	無回答	25	1.5%

問 34 「障害」のひらがな表記についてどのようにお考えですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	今までどおりの「障害」でよい	383	22.3%
2	「障がい」に改めた方がよい	394	22.9%
3	どちらでもよい	667	38.8%
4	わからない	244	14.2%
	無回答	30	1.7%

副問 1 (問 34 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

その理由は何ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 383 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	言葉が定着し、慣れているから	88	23.0%
2	表記云々ではなく、使う人の気持ちであると思うから	179	46.7%
3	ひらがなの方が、「がい」が強調される感じがするから	26	6.8%
4	特に意識をしないから	67	17.5%
5	その他	23	6.0%
	無回答	0	0.0%

副問2（問34で「2」を選んだ方のみお答えください。）

その理由は何ですか。（1つだけ○印）

（回答者数 394人）

	項目	回答数	回答比率
1	「害」という字のイメージが悪いから	70	17.8%
2	「がい」の方がやわらかい感じがするから	139	35.3%
3	「がい」に改めたほうが、差別がないように思えるから	59	15.0%
4	「害」という字に抵抗感を感じている人がいるから	109	27.7%
5	その他	15	3.8%
	無回答	2	0.5%

4. 第3期産業振興計画 ver. 4 について

飛躍への挑戦!
高知県産業振興計画

本県においては、昭和50年代から現在に至るまで合計特殊出生率が2.0を下回る状況が続いてきたことなどによって、高齢者が若者の2倍以上多い人口構成となっており、これを踏まえると、今後も当面の間、人口減少が続くこと自体は避けられない情勢にあります。

かつては、本県経済は、人口減少に伴って、縮んでいく経済でありましたが、地産外商が飛躍的に拡大し、県内総生産や1人当たりの県民所得などは増加に転じており、今や、人口減少下にあっても、拡大する経済へと構造を転じつつあります（表1、表2）。

<産業振興計画取り組み前と取り組み後との比較>

表1：経済成長率（単位：%）

	H13年度値→H20年度値 (旧(H17年)基準)		H20年度値→H28年度値 (H23年基準)	
	7年間の 増減率	1年あたり (幾何平均)	8年間の 増減率	1年あたり (幾何平均)
人口	-4.6	-0.67	-7.0	-0.90
県内総生産(名目)	-13.7	-2.08	6.3	0.77
県内総生産(実質)	-7.3	-1.07	3.8	0.46

表2：1人あたりの県民所得

【高知県】
H20：220.8万円
→H28：256.7万円 <u>(16.3%増)</u>
【全国】<1人あたり国民所得>
H20：284.3万円
→H28：308.2万円 <u>(8.4%増)</u>

こうした中、県外からの移住者が増え、また、合計特殊出生率は国を上回るレベルで上昇するなど、明るい兆しが見えてまいりました。

{
 本県への移住者数 H23年度：120組241人 → H30年度：934組1,325人
 合計特殊出生率 H21年の1.29を底に回復基調
 (H21→H30：+14.7% (全国+3.6%))

今後も、人口減少が続く中であって大切なことは、かつてのように人口減少に伴って縮む経済に陥ることなく、先々にわたり現在の拡大基調を維持し続けられるようにしていくことです。

このため、第3期産業振興計画の最終年度となる令和元年度は、現計画の総仕上げに向けて目標達成に必要な施策を強化するとともに、5年後、10年後を見据えて、各分野の取り組みを大幅に強化しております。

引き続き、産業振興計画による本県経済の体質強化と少子化対策のみならず福祉や教育のさらなる充実を図ることを通じて、県民一人ひとりの暮らしを守り、ひいては、早期に若者が増加する、若返る高知県となるよう、全力で取り組んでまいります。県民の皆様には、産業振興計画などへの積極的なご参画とご協力をお願いします。

※詳しくは同封のパフレット「第3期高知県産業振興計画 ver. 4 PR版」をご覧ください。

問 35 第3期産業振興計画における次の取り組みのうち特に評価できるものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	農業の振興	535	31.1%
2	林業の振興	290	16.9%
3	水産業の振興	239	13.9%
4	ものづくり産業の振興	430	25.0%
5	観光の振興	814	47.4%
6	食品産業の振興	415	24.2%
7	防災関連産業の振興	293	17.1%
8	I T・コンテンツ関連産業の振興	142	8.3%
9	起業や新事業展開の促進	145	8.4%
10	県外からの移住促進	430	25.0%
11	その他	42	2.4%
	無回答	187	10.9%

<参考：産業振興計画のバージョンアップ>

第1期計画
(H21～H23)



第2期計画
(H24～H27)



第3期計画
(H28～R元)



- ・毎年度内容をバージョンアップ!
- ・令和元年度は第3期産業振興計画 ver.4 を推進中

我が国においては、I o TやA I、ビッグデータなどの最先端のデジタル技術の革新が、社会や経済のあらゆる分野に変革をもたらしており、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く第5の社会、いわゆる「S o c i e t y 5.0」の実現に向けた動きが急速に加速しています。

本県においても、第3期高知県産業振興計画 ver. 4において、最先端のデジタル技術を活用して、本県の地場産業の高度化を図るとともに、様々な分野の課題解決などに資する新たな産業の創出につなげる取り組み、すなわち「高知版S o c i e t y 5.0」の実現に向けた取り組みを加速しています。

【デジタル技術の導入事例】

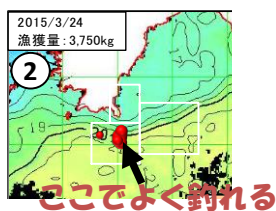
(農業分野)

- ・温度、湿度、二酸化炭素などをコントロールする環境制御技術にA Iなどの最先端の技術を融合させた「Next 次世代型こうち新施設園芸システム」の開発



(水産業分野)

- ・漁場予測情報や出漁判断情報の提供、黒潮牧場の高機能化、急潮や赤潮の発生予測手法の開発などデジタル技術を活用する「高知マリンイノベーション」の推進



漁場予測システム (マジカ) の開発



黒潮牧場周辺の魚群情報発信



急潮予測手法の確立・精度向上

問 36 本県において、デジタル技術を活用した取り組みをさらに進めるために、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	県内企業へのデジタル技術導入の促進	525	30.6%
2	県外 I T 企業との連携等の促進による県内 I T 企業の技術力の向上	423	24.6%
3	第一次産業等の現場におけるデジタル技術の導入ニーズと、県内 I T 企業とのマッチングの促進による新たな製品やシステム開発の拡大	423	24.6%
4	S o c i e t y 5.0 に関連する幅広い分野の企業立地の推進	102	5.9%
5	デジタル技術に関する学びの場（高知県 I T ・コンテンツアカデミー）の充実等による県内での I T 人材育成の強化	595	34.6%
6	即戦力として期待される首都圏 I T 人材の本県への U I ターンの促進	384	22.4%
7	起業支援プログラム（こうちスタートアップパーク）の充実等による起業や新事業展開の促進	259	15.1%
8	その他	55	3.2%
	無回答	122	7.1%



5. 暮らしと環境、地球温暖化について

平成28年4月に、これからの高知県の環境の保全と創造に関する総合的な計画として、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会を目指し、「高知県環境基本計画第四次計画」を策定しました。

本計画は「高知の自然を“まるごと”活かす ～環境保全と地域の自然資源を活かした産業振興を目指して～」というサブタイトルのもと、環境保全を前提としたうえで、地域の自然資源を積極的に活用し、農業、林業、観光業などの産業の振興に取り組んでいます。

問37 あなたが住んでいる地域（市町村）の環境について、あなたは、日頃どのような実感をお持ちですか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	良くなっている	119	6.9%
2	やや良くなっている	288	16.8%
3	変わらない	778	45.3%
4	やや悪化している	244	14.2%
5	悪化している	115	6.7%
6	わからない	134	7.8%
	無回答	40	2.3%

問 38 あなたは、現在、主にどのような環境問題に関心がありますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	ごみのポイ捨てや不法投棄	617	35.9%
2	ごみの処理やリサイクル	577	33.6%
3	海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染	618	36.0%
4	家庭や工場からの排水などによる川や海の水質汚濁	297	17.3%
5	PM2.5などの大気汚染	325	18.9%
6	農薬など化学物質による環境汚染	195	11.4%
7	自動車、鉄道、工場などによる騒音・振動	96	5.6%
8	二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化	545	31.7%
9	過疎地を中心とした森林、農地の持つ環境保全能力の低下	452	26.3%
10	生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	184	10.7%
11	地域開発などによる身近な自然(緑や動植物)の減少	194	11.3%
12	多様な自然とのふれあいの確保	168	9.8%
13	その他	22	1.3%
14	特になし	62	3.6%
	無回答	31	1.8%

問 39 あなたは、日常生活において、環境を守るためにどのような配慮をしていますか。
 (当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	外出時に出したごみは持ち帰る	884	51.5%
2	過剰包装は断るなど日常生活において、できるだけごみを出さない	514	29.9%
3	ペットボトルやアルミ缶、ビンなどのリサイクル、分別収集に協力している	1,294	75.3%
4	使い捨てプラスチック製品の使用を控える	226	13.2%
5	地球温暖化対策のための省エネ（こまめな消灯等）やエコ活動（エコバッグでの買い物等）をしている	645	37.5%
6	食品ロスの削減のために「残さず食べる」ことを心がける	866	50.4%
7	食用油や食べかすを下水に流さない	794	46.2%
8	水を出しっぱなしにしない	1,033	60.1%
9	洗濯には風呂の残り湯を利用する	362	21.1%
10	物は修理して長く使う	561	32.7%
11	庭木や垣根など身近な緑を増やす	342	19.9%
12	山や海に出掛け、多様な自然とふれあう機会をつくり、環境への意識を高めている	236	13.7%
13	外来種を他地域に拡げない、外来種を飼う場合は最後まで責任を持って飼うなど、外来種による被害を防ぐことを心がけている	199	11.6%
14	その他	16	0.9%
15	特に何もしていない	41	2.4%
	無回答	21	1.2%

問 40 あなたは、地域の環境保全活動（地域の清掃活動や外来種の駆除活動等）に参加・協力してみたいと思いますか。（1つだけ○印）

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	すでに参加している	226	13.2%
2	積極的に参加・協力したい	76	4.4%
3	生活に支障がない範囲で参加・協力したい	507	29.5%
4	参加してみたい気持ちはあるが、労力・時間を充てるのが難しい	442	25.7%
5	誘われれば参加してみたい	202	11.8%
6	参加・協力してみたいとは思わない	205	11.9%
	無回答	60	3.5%

問 41 県の環境をよりよくするために、今後行政が特に力を入れるべき取り組みは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策	678	39.5%
2	プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策	745	43.4%
3	大気汚染や水質汚濁などの防止対策、有害化学物質対策	460	26.8%
4	地球温暖化対策やエネルギー対策の推進・新エネルギーの導入促進	476	27.7%
5	生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	173	10.1%
6	間伐などの森林整備や森林環境の保全	494	28.8%
7	公共交通の利用促進	335	19.5%
8	公共工事を実施する際の環境への配慮の促進	163	9.5%
9	身近な自然の保全や復元、ふれあい空間の創造	197	11.5%
10	歴史的な町並みや景観の保全	188	10.9%
11	まちづくりや農業など、他分野での環境保全の視点の導入	194	11.3%
12	環境にやさしいライフスタイルに変革するための教育や普及啓発への取り組み	242	14.1%
13	環境を保全するためのビジネスへの支援	140	8.1%
14	その他	23	1.3%
	無回答	34	2.0%

【地球温暖化対策について】

高知県では、2017年度（平成29年度）から2030年度（令和12年度）までの14年間を計画期間とする「高知県地球温暖化対策実行計画[※]」を策定し、2030年度（令和12年度）に2013年度（平成25年度）比で16%温室効果ガスを削減することを目標に、県民運動として温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

また、気候変動の影響による被害の防止、軽減を図るため、気候変動への適応にも取り組んでいます。

※ 高知県地球温暖化対策実行計画

- ・地球温暖化防止のため県が策定した、県全体から排出される温室効果ガスの削減計画。
- ・県民の皆様、事業者の皆様、各種団体・行政機関等で構成する「高知県地球温暖化防止県民会議」を通じて、地球温暖化防止の取り組みを県民運動として展開しています。

問 42 地球温暖化問題に対して、どの程度関心がありますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	非常に関心がある	466	27.1%
2	少し関心はある	997	58.0%
3	ほとんど関心がない	168	9.8%
4	全く関心がない	56	3.3%
	無回答	31	1.8%

問 43 地球温暖化問題について、次のことを知っていますか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,718人）

	項目	回答数	回答比率
1	世界の年平均気温の上昇は産業革命前に比べ2℃以内に抑えないといけないとされているが、既に1℃程度上昇している	788	45.9%
2	2015年、すべての国が参加する初めての温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択された	864	50.3%
3	日本は、温室効果ガス排出量を2030年度時点で、2013年度と比べて26%削減する目標を掲げた	492	28.6%
4	上記の目標を達成するためには、家庭部門における温室効果ガス排出量を2030年度時点で、2013年度と比べて40%削減する必要がある	213	12.4%
5	暑さに強い農作物の品種を開発するなど、すでに起こりつつある気候変動の影響への「適応策」を実施していくことが重要となっている	478	27.8%
	無回答	341	19.8%

問 44 地球温暖化対策について、次の中であなたが既に取り組んでいるものはありますか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,718 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	何もしていない（しない）	157	9.1%
2	エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、使用時間をできるだけ短くする	712	41.4%
3	テレビの視聴時間を少なくする	437	25.4%
4	冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする	1,025	59.7%
5	無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする	1,213	70.6%
6	環境家計簿 ^{※1} をつける	20	1.2%
7	エコバッグでの買い物を心がける	689	40.1%
8	通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	327	19.0%
9	家電製品は、10年たったら（まだ使えても）買い替えるようにする	82	4.8%
10	照明をLEDに替える	808	47.0%
11	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート等）を設置する	431	25.1%
12	ガスを利用して発電し、その際に発生する排熱を給湯などに利用できるシステム（エネファーム等）を設置する	33	1.9%
13	太陽光発電システムを設置する	182	10.6%
14	家庭用蓄電池を設置する	32	1.9%
15	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	314	18.3%
16	自宅を省エネ住宅（ZEH ^{※2} ）にする（リフォームを含む）	51	3.0%
17	その他	7	0.4%
	無回答	49	2.9%

問 45 地球温暖化対策について、次の中で、あなたがまだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいものはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718 人)

	項目	回答数	回答比率
1	何もしていない(しない)	136	7.9%
2	エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、使用時間をできるだけ短くする	290	16.9%
3	テレビの視聴時間を少なくする	316	18.4%
4	冷蔵庫に物を詰めこみすぎないようにするほか、ドアを開けたらすぐ閉めるようにする	239	13.9%
5	無駄な電気をきったり、こまめに消灯するようにする	222	12.9%
6	環境家計簿 ^{※1} をつける	107	6.2%
7	エコバッグでの買い物を心がける	466	27.1%
8	通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	205	11.9%
9	家電製品は、10年たったら(まだ使えても)買い替えるようにする	279	16.2%
10	照明をLEDに替える	426	24.8%
11	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備(エコジョーズ、エコキュート等)を設置する	214	12.5%
12	ガスを利用して発電し、その際に発生する排熱を給湯などに利用できるシステム(エネファーム等)を設置する	130	7.6%
13	太陽光発電システムを設置する	272	15.8%
14	家庭用蓄電池を設置する	296	17.2%
15	低燃費車(ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車)を使用している	373	21.7%
16	自宅を省エネ住宅(ZEH ^{※2})にする(リフォームを含む)	186	10.8%
17	その他	8	0.5%
	無回答	228	13.3%

※1 環境家計簿： 電気・ガス・灯油・ガソリン・水道などの家庭で消費されるエネルギーから排出される二酸化炭素の量を計算するもの。インターネットなどで利用でき、電力事業者がサービスを提供している場合もある。

※2 ZEH： 1年間の消費エネルギーより住宅でつくったエネルギー(太陽光発電等)のほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。



ZEHでの生活

ZEHでの生活は
省エネ・創エネをしつつ、
夏は涼しく、
冬は暖かい快適な空間を
実現することができます。

出展：ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に関する情報公開について（平成30年3月）

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeh/

国は、2016 年度、地球温暖化対策計画を策定し、我が国の温室効果ガスの排出量を 2030 年度時点で、2013 年度と比べて 26%削減するとの目標を掲げています。

この目標を達成するためには、家庭部門における温室効果ガスの排出量を 2030 年度時点で、2013 年度と比べて約 40%削減する必要があります。

問 46 今後、国の地球温暖化対策計画に沿って家庭部門で温室効果ガスの排出を 40%削減していくために、行政が力を入れるべき施策は何だと考えますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	省エネ住宅（ZEH）や電気自動車等に対する補助・減税の充実	886	51.6%
2	LED以外の照明の販売禁止、低炭素車以外の販売禁止などの規制の強化	276	16.1%
3	コンパクトでエネルギー消費の少ないまちづくり(公共交通の充実・低炭素化、自転車専用道の整備等)の推進	578	33.6%
4	電気自動車の充電スタンド、燃料電池車の水素ステーション等の設置拡大	579	33.7%
5	街路樹の植栽、屋上緑化等によるヒートアイランド対策の強化	663	38.6%
6	水素などの新しい低炭素エネルギーの研究支援、実用化に向けた実証	432	25.1%
7	家電製品や発電設備等の性能向上に向けた技術革新に対する支援の強化	441	25.7%
8	再生可能エネルギーの普及拡大に向けた、発電事業者に対する二酸化炭素排出規制の強化	461	26.8%
9	地球温暖化問題に関するシンポジウム、イベント等の啓発の強化	276	16.1%
10	LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化	760	44.2%
11	教育現場での地球温暖化教育の充実・強化	633	36.8%
12	その他	32	1.9%
	無回答	72	4.2%

6. 特殊詐欺について

平成30年中のオレオレ詐欺などの特殊詐欺被害の発生状況は、全国で16,496件、総額約363億9000万円、高知県内は20件、総額約4,418万円で、発生件数、被害総額とも減少傾向にあります。ただし、だまし取る手段の多様化、巧妙化により、近年は、高齢者だけでなく、幅広い年齢層にまで被害は広がっています。

県下各地では、毎日のように特殊詐欺の前兆事案が発生している状況にありますので、警察では、特殊詐欺撲滅に対する取り組みを強化しています。

県民の皆様には、特殊詐欺に対する関心を持っていただき、被害防止意識を高めて、被害を未然に防止していただきたいと思います。

「特殊詐欺」とは？

《オレオレ詐欺》 電話を利用して親族、警察官、弁護士等を装い交通事故の示談金等の名目で、現金を預貯金口座へ振り込ませるなどの方法によりだまし取ること。

《架空請求詐欺》 郵便、インターネット等を利用して、架空の事実を口実とした料金を請求する文書等を送付するなどして、現金を預貯金口座に振り込ませるなどの方法によりだまし取ること。

《融資保証金詐欺》 実際には融資する意思がないにもかかわらず、ダイレクトメールや、FAX、電話などによって融資を誘い、融資を申し込んできた者に対し、保証金等を名目に現金を預貯金口座等に振り込ませるなどしてだまし取ること。

《還付金等詐欺》 税務署や社会保険事務所等の自治体の職員をかたり、税金の還付金等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させて、預貯金口座間の送金により現金をだまし取ること。

※ 上記以外の特殊詐欺には、金融商品等取引、ギャンブル必勝情報提供名目などの類型があります。

問 47 特殊詐欺に関する知識はどの程度ありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	詳しく知っている	237	13.8%
2	少しは知っている	1,186	69.0%
3	名称を知っている程度で、あまり知らない	232	13.5%
4	全く知らない	29	1.7%
	無回答	34	2.0%

問 48 どのような媒体で特殊詐欺に関する知識を得ましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,689人)

	項 目	回答数	回答比率
1	テレビ、ラジオ	1,595	94.4%
2	新聞	892	52.8%
3	広報啓発ポスター	495	29.3%
4	スマートフォン等の携帯電話	395	23.4%
5	友人、知人や家族	269	15.9%
6	防犯教室等での講話	98	5.8%
7	警察・県・市町村のチラシ、広報誌、ホームページ	592	35.1%
8	警察等の防犯活動	260	15.4%
9	銀行、郵便局のチラシや冊子など	472	27.9%
10	その他	39	2.3%
	無回答	24	1.4%

問 49 どのような場所で特殊詐欺の知識を知りましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,689人)

	項 目	回答数	回答比率
1	警察、県、市町村などの自治体の建物	714	42.3%
2	病院	162	9.6%
3	駅、バス、電車等	213	12.6%
4	自宅、知人宅等	887	52.5%
5	イベント会場内	151	8.9%
6	スーパー等の量販店やその駐車場	325	19.2%
7	その他	239	14.2%
	無回答	68	4.0%

問 50 あなたが知っていた特殊詐欺の手口の名称はどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,689 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	オレオレ詐欺	1650	97.7%
2	還付金詐欺	1316	77.9%
3	架空請求詐欺	1448	85.7%
4	金融商品等取引名目詐欺	425	25.2%
5	融資保証金詐欺	341	20.2%
6	ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺	423	25.0%
7	異性との交際あっせん名目の詐欺	368	21.8%
8	知らない	1	0.1%
	無回答	22	1.3%

問 51 特殊詐欺の犯人が、どのようなことを悪用して現金をだまし取っているのかわっていますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,689 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	金融機関のATM(振込)を悪用	1617	95.7%
2	電子マネーを悪用(プリペイドカード番号をメールなどで伝える)	1105	65.4%
3	宅配便を悪用	873	51.7%
4	小包などの郵便配送を悪用	774	45.8%
5	直接、自宅などに受け取りに来る	1052	62.3%
6	知らない	16	0.9%
	無回答	27	1.6%

問 52 これまでに特殊詐欺と思われる電話、ハガキ、メールなどを受け取ったことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,689 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	複数回ある	579	34.3%
2	1度ある	236	14.0%
3	ない	749	44.3%
4	覚えていない	100	5.9%
	無回答	25	1.5%

副問 1 (問 52 で「1・2」を選んだ方のみお答えください。)

これまでに特殊詐欺のことで警察に相談や届出をしたことがありますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 815 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	ある	147	18.0%
2	友人等に依頼して相談、届出した	19	2.3%
3	相談、届出をしようとしたがやめた	171	21.0%
4	するつもりはない	403	49.4%
5	覚えていない	50	6.1%
	無回答	25	3.1%

問 53 自分は特殊詐欺の被害にあうと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,689 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	自分も被害にあう可能性があると思う	1,046	61.9%
2	自分は被害にはあわないと思う	599	35.5%
	無回答	44	2.6%

副問 1 (問 53 で「2」を選んだ方のみお答えください。)

その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 599 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	だまされない自信があるから	171	28.5%
2	自分には関係がないと思っているから	66	11.0%
3	詐欺の手口はよく知っているから	135	22.5%
4	必ず誰かに相談するから	256	42.7%
5	知らない番号の電話やメールは無視するから	402	67.1%
6	被害に遭わない対策を取っているから	57	9.5%
7	特に理由はない	54	9.0%
	無回答	6	1.0%

問 54 特殊詐欺について家族や近所の方と話したことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,689 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	ある	912	54.0%
2	ない	736	43.6%
	無回答	41	2.4%

副問 1 (問 54 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

話をして、特殊詐欺への対策を決めましたか。(1つだけ○印)

(回答者数 912 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	対策を決めた	289	31.7%
2	特に対策は決めていない	614	67.3%
	無回答	9	1.0%

問 55 特殊詐欺の被害防止には、どのような対策が有効だと思いますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	詐欺の手口や発生などの情報提供	1,344	78.2%
2	警察やボランティアによる家族訪問指導	331	19.3%
3	家族、知人等での話し合い	866	50.4%
4	講習会・研修会などの参加	281	16.4%
5	金融機関の職員による声かけ	973	56.6%
6	コンビニエンスストア、ドラッグストアなどの従業員による声かけ	747	43.5%
7	警察・県・市町村などによる啓発活動	882	51.3%
8	わからない	60	3.5%
	無回答	31	1.8%

問 56 特殊詐欺の被害防止対策の中で知っているものはどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718人)

	項目	回答数	回答比率
1	チラシ、リーフレットの配布やポスター掲示等による広報活動	1,215	70.7%
2	テレビ、ラジオ及び新聞等のマスメディアを利用した広報活動	1,398	81.4%
3	年金支給日に伴う「ATM集中警戒日」での被害防止警戒活動	406	23.6%
4	高知県警察ホームページ「こうちのまもり」への掲載による広報啓発活動	202	11.8%
5	特殊詐欺専用のメール、ツイッター情報	130	7.6%
6	警察官や地域安全アドバイザー等による「寸劇、紙芝居、講話」やキャンペーン等による広報啓発活動	534	31.1%
7	知らない	92	5.4%
	無回答	31	1.8%

問 57 電話による特殊詐欺を防止するために有効な「詐欺電話撃退装置※」（電話がかかってきた際、通話内容を録音している旨のアナウンスが流れる装置）を知っていますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	知っている	903	52.6%
2	知らない	781	45.5%
	無回答	34	2.0%

問 58 「詐欺電話撃退装置※」を設置したいと思いませんか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,718 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	既に装置を設置している	69	4.0%
2	設置しようと思っている（詳しく知りたいと思っている）	735	42.8%
3	設置しようと思わない	837	48.7%
	無回答	77	4.5%

※ 詐欺電話撃退装置： 振り込め詐欺や悪質商法勧誘の着信があった場合、発信者側に対して「警告メッセージ（この電話は、振り込め詐欺などの犯罪被害防止のため会話が自動録音されます）」を流し、高音質で会話を録音する。犯人側は、自分の声が残るのを嫌がることから、警告メッセージの段階で電話を切ることから未然防止に有効。

希望者には詐欺電話撃退装置「見張り君」の無料貸し出し（原則1年以内）を行っています。

使ってみたい方は、最寄りの警察署の生活安全課までご連絡ください。

特殊詐欺被害にあわないために

●一人で悩まず、家族や友人、警察等に相談を！

特殊詐欺の被害にあう方は、不審な電話があったときに家族や友人、警察等に相談していない傾向が多く認められます。

被害を防止するためには、犯人からの電話の不自然さに気づくことができるように意識を高め、少しでも不審に感じた時には家族や友人、警察等に確認や相談してください。

●留守番電話機能などをご活用ください

犯人からの予兆電話は、9割以上が固定電話へかかってきます。固定電話の留守番電話機能や迷惑電話防止機能を使って、直接犯人からの電話を受けるのを防ぐことができます。

7. 集落活動センターについて

◎中山間地域の集落の維持・再生に向けた仕組みづくり

～地域課題の解決と住民の想いの実現に向けて～

県では、人口減少や高齢化が進む中山間地域における、様々な課題の解決を目指すとともに、住み慣れた地域で暮らし続けたいという住民の皆様の強い想いを実現するため、平成24年度から集落の維持・再生に向けた地域ぐるみの総合的な仕組みづくりとして、「集落活動センター」の取り組みを推進しています。

(令和元年8月1日時点で、29市町村、52ヶ所で開設)

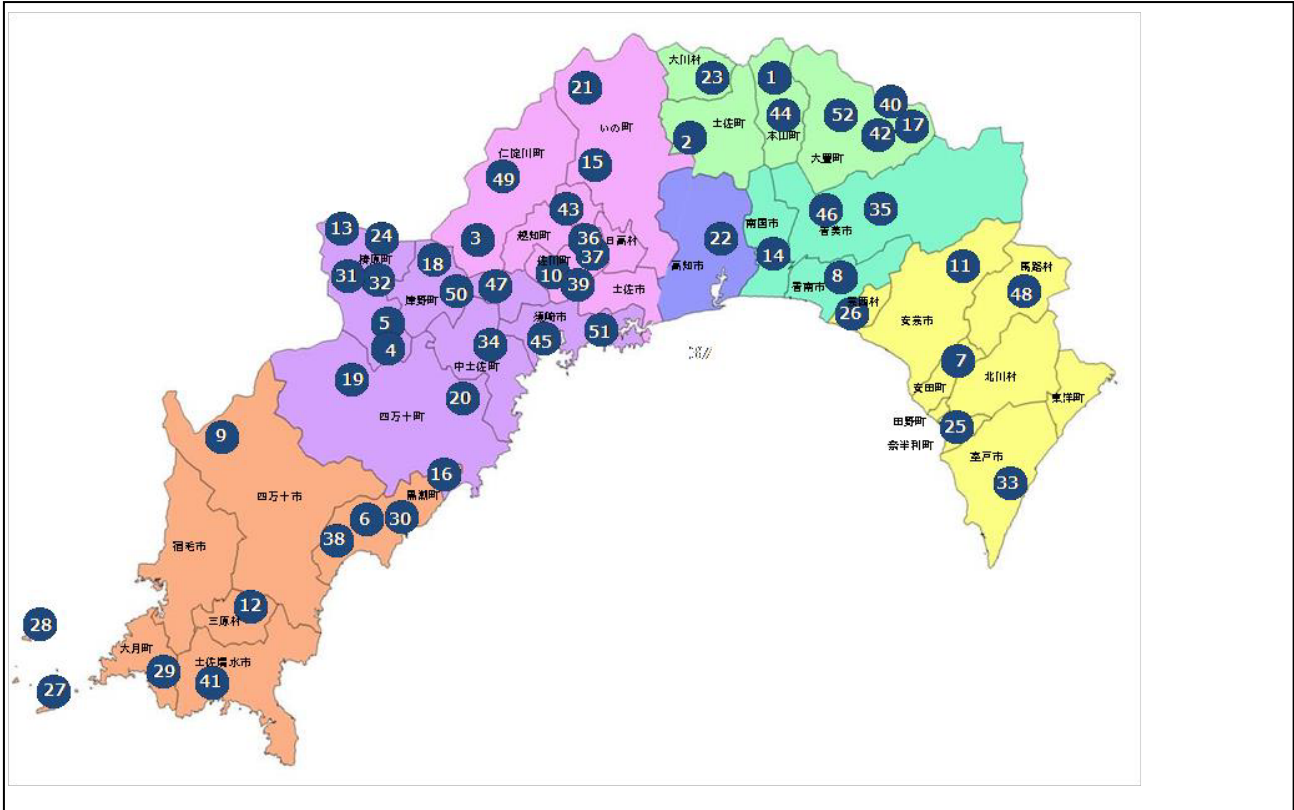
「集落活動センター」とは？

住み慣れた地域への愛着と、「これからもここに住み続けたい」という思いを持つ地域住民の方々が、旧小学校や集会所などを拠点に、それぞれの地域の困りごとや、取り組んでみたいことに、チャレンジする仕組みです。

配食サービスと併せて行う高齢者の見守りや、地域になくてはならない日用品販売店やガソリンスタンドの経営、地域の食材を使ったカフェや農家食堂の運営など、センターによってさまざまな活動をしています。

No.	地区名	名称	No.	地区名	名称	No.	地区名	名称	No.	地区名	名称
①	本山市 汗見川	集落活動センター 「汗見川」	⑭	南国市 福生	集落活動センター 「チーム福生」	⑳	宿毛市 沖の島	沖の島集落活動センター 「妹背家」	㉔	大豊町 岩原	集落活動センター 「絆の里・いわはら」
②	土佐町 石原	集落活動センター いしはらの里	⑮	いの町 柳野	集落活動センター 柳野	㉑	宿毛市 鶴来島	鶴来島集落活動センター 「鶴来島」	㉕	土佐清水市 下川口	集落活動センター 下川口家
③	仁淀川町 長者	集落活動センター だんだんの里	⑯	黒潮町 佐賀北部	集落活動センター 佐賀北部	㉒	大月町 姫ノ井	姫ノ井集落活動 センター「姫の里」	㉖	大豊町 東豊永	東豊永集落活動セン ター
④	梶原町 松原	集落活動センター 「まつばら」	⑰	大豊町 西峯	集落活動センター 「西峯」	㉓	黒潮町 鏡川	集落活動センター であいの里鏡川	㉗	越知町 横昌西部	山笑ふ横昌 集落活動センター
⑤	梶原町 初瀬	集落活動センター 「はつせ」	⑱	津野町 郷	郷地区集落活動センター 「奥四万十の郷」	㉔	梶原町 西区	集落活動センター ゆすはら西	㉘	本山市 上関・下関	集落活動センター なめかわ
⑥	黒潮町 北郷	集落活動センター 北郷	⑲	四万十町 中津川	中津川集落活動センター 「こだま」	㉕	梶原町 東区	集落活動センター ゆすはら東	㉙	須崎市 安和	集落活動センター あわ
⑦	安田町 中山	集落活動センター なはやま	⑳	四万十町 仁井田	集落活動センター 「仁井田のりん家」	㉖	室戸市 椎名	椎名集落活動センター たのしいな	㉚	香美市 平山	集落活動センター ひらやま
⑧	香南市 西川	西川地区 集落活動センター	㉑	いの町 越嶽門・寺川	越嶽門・寺川地区集落 活動センター「氷室の里」	㉗	中土佐町 大野見南	大野見集落活動 センターみなみ	㉛	津野町 白石	集落活動センター しらいし
⑨	四万十市 大宮	大宮集落活動センター みやの里	㉒	高知市 北七ツ洲	北七ツ洲集落活動センター 「たけのこの里」	㉘	香美市 美良布	集落活動センター 美良布	㉜	馬路村 魚梁瀬	集落活動センター やなせ
⑩	佐川町 尾川	尾川地区集落活動センター たいご岩	㉓	大川村	大川村集落活動センター 結いの里	㉙	佐川町 黒岩	集落活動センター くろいわ	㉝	仁淀川町 下名野川	集落活動センター 山村自然楽校しもなの郷
⑪	安芸市 東川	東川集落活動センター 「かまん東川」	㉔	梶原町 越知面	集落活動センター 「おちめん」	㉚	佐川町 加茂	集落活動センター 加茂の里	㉞	津野町 船戸	集落活動センター ふなと
⑫	三原村	三原村集落活動センター やまびこ	㉕	奈半利町	集落活動センター なはりの郷	㉛	黒潮町 蛸瀬川	集落活動センター かきせ	㉟	須崎市 浦ノ内	集落活動センター うらのうち
⑬	梶原町 四万川	集落活動センター 「四万川」	㉖	芸西村	集落活動センター げいせい	㉜	佐川町 斗賀野	とかの集落活動 センターあおぞら	㊱	大豊町 穴内	集落活動センター あなない

※ 詳しくは同封の「集落活動センターの開所地区の状況」をご覧ください。



問 59 集落活動センターの取り組みは、特にどのような面で中山間地域の維持や活性化に有効だと思いますか。(2つまで○印)

(回答者 1,718 人)

	項目	回答数	回答比率
1	特産品の販売や、他地域との交流により、地域経済を活性化させる	1,007	58.6%
2	地域住民の暮らしを守る	620	36.1%
3	地域住民同士の交流の輪を広げる	744	43.3%
4	域住民のやりがい生まれる	421	24.5%
5	その他	21	1.2%
	無回答	105	6.1%

問 60 集落活動センターの活動の中で、あなたが利用したいサービスは何ですか。(当
てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,718人)

	項 目	回答数	回答比率
1	カフェや農家レストラン	1,118	65.1%
2	直売所	1,250	72.8%
3	宿泊	312	18.2%
4	自然・体験イベント	580	33.8%
5	サロンなどの集い	129	7.5%
6	配食サービス	172	10.0%
7	ガソリンスタンド	194	11.3%
8	日用品販売	226	13.2%
9	その他	25	1.5%
	無回答	108	6.3%

質問は以上です。

長時間ご協力いただきありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、
9月20日(金)までに、切手を貼らずに返送してください。

お手数をおかけしますが、よろしく申し上げます。

※ この世論調査の調査結果は、令和2年1月上旬に広報広聴課ホームページ
(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/kocho-yoronchosa-index.html>)
及び県庁本庁舎1階県民室で公表する予定です。

また、平成30年度の結果は同様に公表しています。

